

<子供たちが未来を創造し、たくましく生きるために必要なこと>

どんな経験が必要？

【例】ホンモノに触れる

大人も学校も
過去の経験で固
死守る新しい経験

SEL

知らない人との
会話力

将来なりたい姿
職業につながる
ような講座

文化的な体験

部活
かけもち

どんな力が必要？

【例】知的好奇心

問う力をつける

想像力
創造力
行動力

対応力

応用力

自信

どんな取組・環境が必要？

【例】体験学習

小中学生に考え
決定させる
体験学習とする

はじめての体験！
学校側に沿った
体験学習

得意を伸ばす

自分を認める

(学校) 親の
「過干渉しない」
取組(?)

協力の何かが
成る。

<まとめ：大事だと感じたこと>

子どもの成長を
ほどよく見守る。

楽しく生きる

世の中に出た時、
心身共に元々な
大人になれるように。

さまざまな
体験

たくさん
の選択を
もつこと

自分を理解し
自分の軸を
もつこと

子どもの
意見を大切に

○子ども基本法
○スポーツ基本法
○子どもの権利条約

<子供たちが未来を創造し、たくましく生きるために必要なこと>

どんな経験が必要？

【例】ホンモノに触れる

子どもに「旅」をさせる
(親の忍耐つき)

部活のかけもち

文化的体験

たくさん
大人と会う

色々な場所へ
行く(校外)

学校の外へ
こえて体験
アウトドア

稲作体験
(恋野)

何故か
止まる

谷戸には
稲穂が

困ったとき
乗り越える経験

沢山の
出会い

群衆
色々な大人と

<まとめ：大事だと感じたこと>

地域の子と
学校先生、保護者
地域のみんなと
育つ。い
っぱい「あそび」がある
地域で育つ。

自信をもてる子に！

学校が第2の家の
温かい場所に感じ
られるサポートが
(第一に必要)大事。

どんな力が必要？

【例】知的好奇心

主体的に
取り組む

自分で学ぶ力
社会で見る目

やりぬく力

自己肯定感

体力

探究心
探究力

あきらめずに
やりぬく力

人と関わる
力

相手の話を
聞く力

コミュニケーション
力

だまされずに
フェイクを見抜く力

いろんな意見と
向き合う力

話しあって
問題を解決
する力

好奇心
探究心

今ある幸せを
見つけられる力

読解力

いろいろな
人数の
学校

主体性
を育む
環境作り

どんな取組・環境が必要？

【例】体験学習

歩いて通う

小グループ
活動

情報処理
(ネット等)

小人数で
本音と
出せる形

先生 ひとり
の人数を
少なくする

年齢に内
(学年) 交流

顔の見える
地域の人の
関わり

地域の人の
関心
を高めるイベント
(子ども会等)

先生 ひとり
全ての子ども
はあててくれる

「地域の学校」
「地域の子ども」
という意識をもつ

図書館司書
1学校 1人

多様性を
年齢をこえて
あつめる

自然・創造
教育

合鴨農法
農家
の取組

伝統の継承
(自転車大会)

地域の人の
共同作業

ネットを使って
意見交換を
あつめる

学校 同
交流

学校を地域の
開放する
先生 ひとり
ない学校

父親日に
家族で参加
(社会等)

親と子
いっしょに
体験

そこに
地域の人が

人と関わる
力
育む
環境

1人1人の個性を
認め合う環境が
大切だと思える。